

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

広島県安芸郡熊野町長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のこのことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

広島県安芸郡熊野町

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 道路整備に必要な財源の確保について

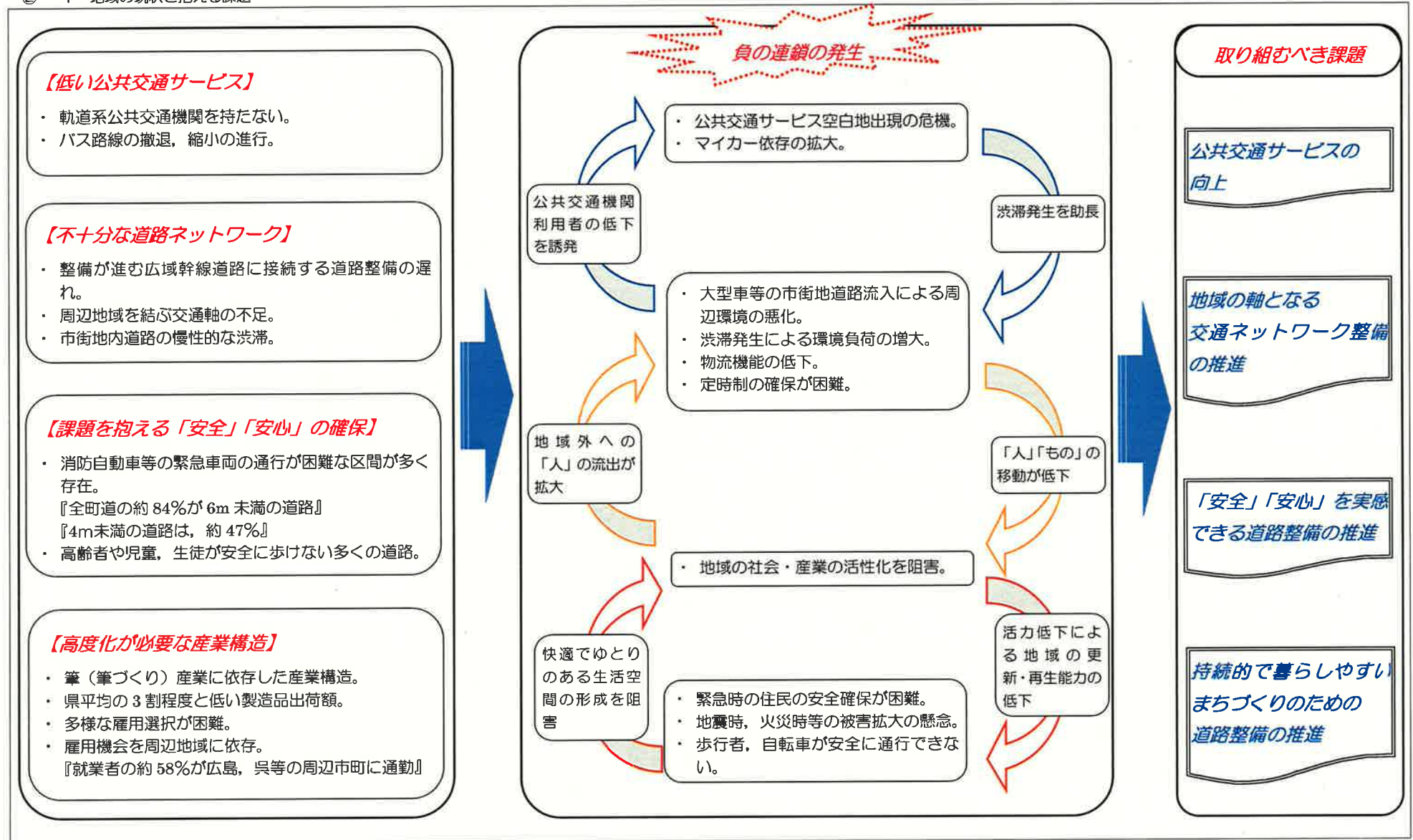
- ・ 自動車への依存度が高い地方部では、一世帯当りの保有台数も多く、これまで税負担に果たしてきた地方の役割を十分に配慮し、受益者負担の原則を踏まえ、交通ネットワークの形成や生活基盤である道路の整備が遅れている地方に対して、より重点的に財源を配分するよう要望する。

○ 制度について

- ・ 極めて厳しい地方財政の状況の中で、現行の道路特定財源収入が地方の道路整備の4割程度しか賄っていない状況に鑑み、地域のニーズに応じた道路整備が着実に行えるよう、補助制度等の拡充を要望する。
- ・ また、今後増大する老朽化した構造物の維持修繕等に要する経費について、国民の「安全」「安心」の観点から、十分な財源措置が講じられるよう制度の拡充を要望する。

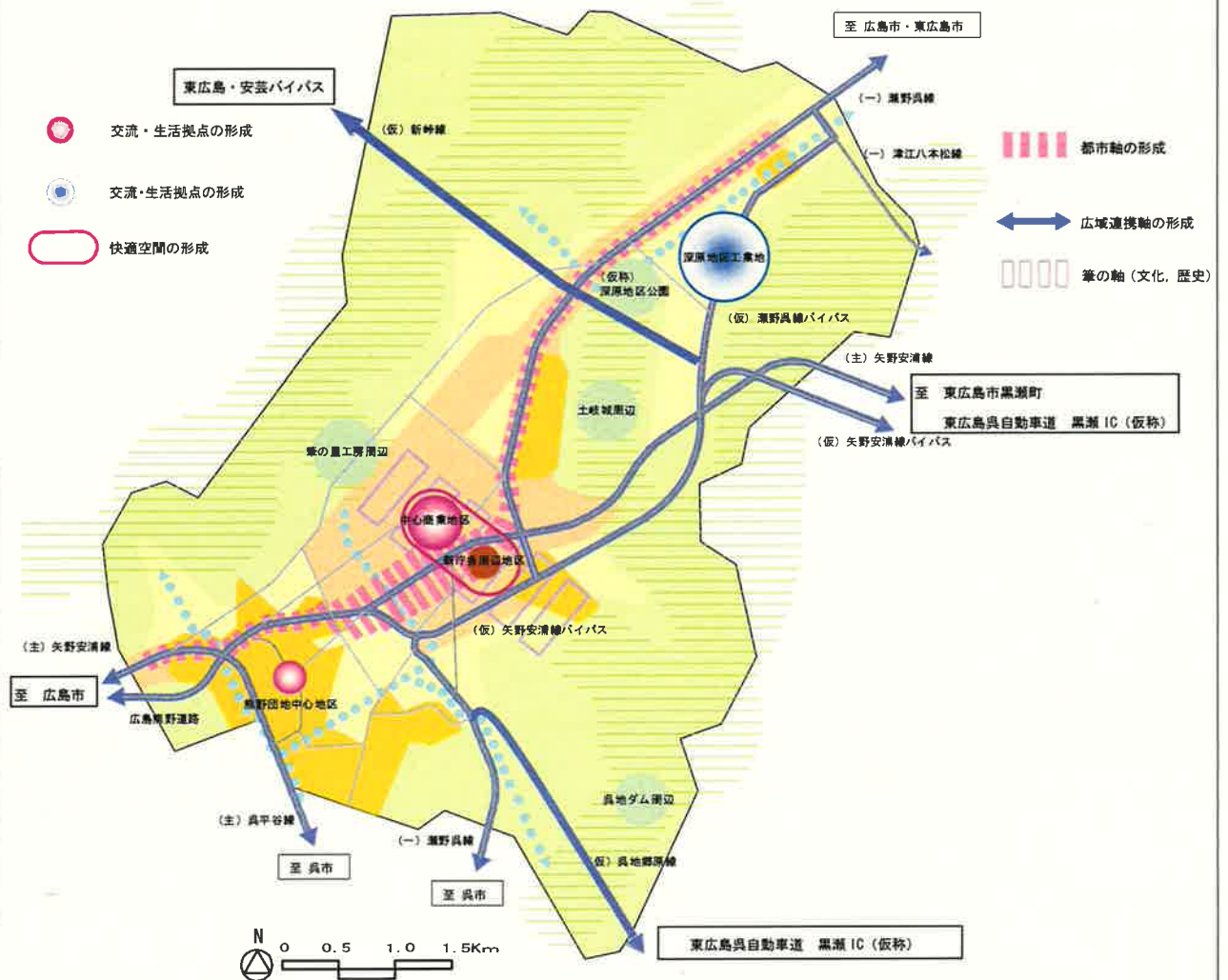
○ その他

- ・ 地域のニーズに応じた道路を計画的に整備するためには、地方分権推進の観点からも、地方に、より重点的に権限、財源を配分することが重要であり、道路の整備や維持修繕に係る国と地方の役割分担を再整理・明確化し、適正な役割分担のもとに、今後の道路行政を展開されるよう要望する。



- ・一方で、軌道系の公共交通機関を持たないことから道路交通が生命線となっている。

- また、価値観の多様化や少子化・高齢化社会への対応が求められている今日、人々が安心、安全、便利で快適な生活を営むためには、『人と人とがふれあえるまちづくり』、『安心安全なまちづくり』など防災やコミュニティに配慮したきめの細かい環境づくりを行うとともに様々な機能をバランス良く整備し、それら施設に歩いてアクセスできるなど『人にやさしい道路環境』の整備を推進する。



今後の道路行政についての意見・提案

広島県安芸郡熊野町

③ 道路施策の重点事項（代表事例，期待する効果や評価等）

【重点事項】	【代表事例】	【期待する効果や評価等】	【その他】
○ 交通ネットワークの形成 ○ 物流機能の強化による地域（産業）の活性化 ○ 危機管理の強化 ○ 環境負荷の軽減	・ 主要地方道矢野安浦線及び一般県道瀬野呉線バイパス等の整備	・ 東広島・安芸バイパス，東広島呉道路等と接続し，広域交通の円滑化，都市間移動の複線経路化が可能。 ・ 交通ネットワークの形成による物流機能の強化。 ・ 定時制，走行快適性の向上。 ・ 複数路線化によるリダンダンシー機能の強化。	・ 地域（産業）の活性化による雇用機会の拡大。 ・ 渋滞緩和による環境負荷の軽減。 ・ 沿道利用の拡大による地域の活性化向上。
○ 「安全」「安心」の確保 ○ バリアフリー化の推進	・ 市街地内生活道の整備	・ 緊急車両等の通行可能区間の拡大。 ・ 災害時の被害拡大の軽減。 ・ 高齢者等が安心して歩ける空間の確保。	・ 住環境の改善による人口減少，流出の抑制。